

第1回日本登山医学会認定ファーストエイド講習会

ベーシック・冬コース開催要綱

平成24年12月28日改訂

日本登山医学会理事 増山茂

日本登山医学会ファーストエイド委員長 大城和恵

1. 趣旨

登山など野外での活動において傷病者に遭遇した場合、現場での非医療者による適切な応急・救命処置は、搬送時間を考慮すれば、救命率を高める重要なポイントとなっています。また、山岳や野外における応急・救命処置は、近年確立されつつある都市部におけるそれとは異なる側面を持ち、野外環境の特性を踏まえた正しい知識と適切な応急・救命技術を身につけた救助要員の養成、登山者や野外活動者の自助能力の獲得、が望まれます。

本講習では、登山など野外での活動における生理的变化、傷病、応急・救命処置に関し、欧州や北米などで標準的となりつつある医学的知見に基づく知識と技術の習得を目的として開催します。これにより、登山など野外での活動において、予防医学の実践、傷病者への初期対応技能を上げ、事故や遭難の減少、救命率の改善・後遺症の軽減を図るものである。

2. 主催 日本登山医学会

3. 共催 国際山岳救助協議会医療部会

4. 後援 独立行政法人日本スポーツ振興センター 国立登山研修所
社団法人 日本山岳協会

5. 期日、開催地

(1) 期日 平成25年2月15日(金)～2月17日(日)

講習受付開始 平成25年2月15日(金) 午前8時

講習開始 平成25年2月15日(金) 午前8時30分

解散予定 平成25年2月17日(日) 午後15時30分

(2) 開催地・宿泊場所 国立登山研修所

〒930-1406 富山県中新川郡 立山町芦峯寺ブナ坂6

6. コース構成

1	ベーシックコース	冬コース	下記にある11.参加対象者に該当する全ての方
		夏コース	
2	アドバンスコース		ベーシック(冬夏)終了認定を受けたもの
3	プレミアムコース		アドバンス終了認定をうけ、インストラクター希望者

全部で3つのコースがありますが、今回開催されるのは、ベーシックコースの冬コースになります。

7. ベーシックコース構成

(1)カリキュラム構成

40 時間を夏と冬に分割し、計 5 日間にわたり実施する。コースには、筆記試験と実技試験、総合技能評価が含まれ、3 年以内に 5 日間全てを履修し、筆記試験、実技試験、総合技能評価の全ての基準を満たした者は、コース終了認定を受ける。

カリキュラムは、ABC にわかれる。カリキュラム A は講習初日に行なわれる。BC とも、夏コースと冬コースに分かれる。全てを終了するには冬コースと夏コースの両方の受講が必要。但し、A は初回時に 1 度受ければよいため、最低 5 日で履修終了する。希望者は A を 2 回 (計 6 日間) 受講することも可。その場合も受講料の割り増しはない。

	1 日目	2 日目	3 日目
	カリキュラム A	カリキュラム B	カリキュラム C
冬(W)コース	冬夏共通	カリキュラム B-W、筆記試験、実技試験	C-W、総合技能評価
夏(S)コース	カリキュラム	カリキュラム B-S、筆記試験、実技試験	C-S、総合技能評価

(2)カリキュラム内容

	時 間	講義	実技
A	10	山岳ファーストエイドの概念、法規 初期評価 (総論、各論) 3SABCDE、基礎医学、ショック 外傷 (総論・各論、止血)、予防	3SABCDE、頸椎保護、心肺 蘇生、体位・移動、外傷処置、 固定
B-W	9	内科疾患概論：心臓病、高血圧症、AED、脳卒中 環境関連疾患概論：低体温症、雪崩埋没、溺水、凍傷	屋内シナリオトレーニング
B-S	9	内科疾患概論：糖尿病、喘息、アナフィラキシー 環境関連疾患概論：熱中症、高山病、落雷、咬傷、熱傷	屋内シナリオトレーニング
		総合技能トレーニング	
C-W	6	A,B-W の知識と実技を実践的に生かす屋外シナリオトレーニング	
C-S	6	A,B-S の知識と実技を実践的に生かす屋外シナリオトレーニング	

(3)受講料金体系

全 5 日間 社会人：45,000 円 (資料代、傷害保険料含む) (宿泊費、食費含まず。個人清算となります。)

学生：28,000 円 (資料代、傷害保険料含む) (宿泊費、食費含まず。個人清算となります。)

初回受講時 社会人 25,000 円、学生 15,000 円

2 回目受講時 社会人 20,000 円、学生 13,000 円 (希望でカリキュラム A を受けても同価格)

不合格による追加受講 無料 (合格まで責任もって指導致します)

更新講習試験 10,000 円 (カリキュラム c-w, c-s どちらか必須、A,B 同時受講追加料金無し)

終了認定後の講習参加 無料

(4)認定制度

(イ)本カリキュラムは、国際山岳連盟医療委員会 (UIAA MEDCOM)、国際山岳救助協議会医療部会 (ICAR MEDCOM)、ISMM (国際登山医学会)、WMS (WILDERNESS MEDICAL SOCIETY) のガイドライン、コンセンサスに則り、日本の病院内医療、救助実態、法規と整合性を配慮した内容である。5日間 (夏+冬コース) の筆記、実技、技能の全てで評価基準を満たしたものは、日本登山医学会認定ファーストエイド **BASIC PROVIDER** の認定証が授与され、終了認定を受けることができる。認定者は名簿登録される (登録有効期間は3年間)。

初回 (冬または夏) コースで、評価基準を満たさない項目は、残りのコース (夏または冬) で再度評価を行ない、そこで全て評価基準を満たせば終了認定となる。夏冬2度のコースでも、評価基準を満たさない場合、講習後に講習責任医師が合格までサポートをする。終了認定を受けていない受講生は、初回コース受講日より3年以内であれば、何度でもコースを受ける事ができる (その場合3度目以降のコース受講料は無料)。

(ロ) 認定後3年以内に資格更新すると登録更新される。ベーシックコースの資格更新は、夏コース・冬コースの3日目カリキュラム (c-w, c-s) のどちらかに参加し、筆記試験と実技評価、総合技能評価全てに合格することが必要。(希望者は、コースの初日からの参加も可能。)

(ハ)ベーシックコース合格者は、**ADVANCED** コースを受けることができる。**ADVANCED** コースを優秀な成績で合格、かつ現役で山岳活動を活発にされている方は、インストラクター**PREMIUM** 講習を受けた後、本講習制度のインストラクターとして一緒に活動することができる。

8.本講習プログラム (冬コース)

(1)第1回は、ファーストエイドベーシックコース5日間のうち、冬コース3日間 (カリキュラム **A+B-w+C-w**) を開催する。

(2)日程表は受講決定者に通知致します。

9.試験

(1)筆記試験

2日目の夜に、筆記試験全20問、30分の○×試験を行ないます。70点以上が合格、終了後問題解説と結果発表を致します。65点以下の受講生は、3日目の朝に再試験があります。最終合格発表は、全講習終了時となります。不合格者は、次回コースで試験を受けます。

(2)実技評価

2日目講習中に、実技評価を行ないます。実技の習得目標を配布しますので、それに則り、評価を行ないます。70点以上が合格、基準に満たない者にはそのポイントを解説します。2日目の筆記試験後に実技補講を行ない再評価します。評価結果の発表は、全講習終了時となります。

(3)技能評価

3日目のシナリオトレーニングでは、知識と実技を実践的に生かす技能評価を行います。基準に満たない場合、反復して行い再評価をします。筆記試験で不合格者や実技が不十分であった受講生も、最終的にここで評価されます。逆に、実技と筆記試験が高得点でも、技能評価が基準を満たさないと、実践で生かせないということになり評価が低く

なります。結果発表は、全講習終了時に行いません。

(4) 終了認定

筆記試験、実技試験、総合技能評価の全ての基準を満たした者は、コース終了認定を受けます。今回の受講生は、次に夏コースを受け、評価基準を満たした後、終了認定となります。今回の冬コースで評価基準を満たさなかった場合、夏コースで再評価を受けます。冬夏コースともに評価基準に満たない場合、担当医師が合格までサポートします。

10. 講師・実技講師等

(1) 講習会責任医師

UIAA/ICAR/ISMM 認定英国国際山岳医 大城和恵

(2) 講習会運営担当者

UIAA/ICAR/ISMM 認定国際山岳医 千島康稔

(3) 講習会講師

日本登山医学会理事 増山茂

大城和恵

千島康稔 他

(4) 実技講師

千島康稔

大城和恵他

11. 参加対象者等

(1) 参加対象者

ア. 次に該当する健康な者

山岳・野外活動に関わっている人、本講習に興味のある人（始動期は、公的救助隊、遭対関係者を優先する予定。）

イ. 定員 20 名程度

(2) 参加申込先

ア. 上記該当者で参加を希望する者は、締切日までに参加申込書（様式 1）もしくは、同等の内容を記載して、以下まで E-MAIL または FAX にて申し込むこと。

日本登山医学会ファーストエイド委員会 E-MAIL: ffaoffice@jsmmed.org、 FAX: 03-6868-6484

イ. 日本登山医学会山岳ファーストエイド委員会で協議のうえ、参加者を決定する。

ウ. 申込期限 締切：平成 25 年 1 月 21 日 24 時

エ. 受講可否通知 平成 25 年 1 月 25 日までに通知

12. 受講料

(1) 社会人 25,000 円、学生 15,000 円（資料代、傷害保険料含む）（宿泊費、食費含まず。個人清算となります。）

(2) 振込期限 平成 25 年 2 月 8 日

(3) 振込先 受講決定者に通知致します。

(4)参加できなくなった場合の参加費の返金について

- ①平成 25 年 2 月 1 日以前：支出済経費、振込手数料を除いた額を返金。
- ②平成 25 年 2 月 2 日以降：支出済経費、振込手数料、キャンセル料を除いた額を返金。
 - 平成 25 年 2 月 2 日～平成 25 年 2 月 8 日キャンセル料 30%
 - 平成 25 年 2 月 9 日～平成 25 年 2 月 13 日キャンセル料 50%
 - 前日～当日 100%

13.講習時の服装及び装備等

- (1)服装 動き易い服装。女性はスカート不可。雪上で半日過ごす事ができる服装。防寒具の他に雨具上下も要持参。
- (2)装備 ザック、水筒、テルモス、ヘッドランプ、ツェルト、ウオ-キングポール、地図、コンパス、スコップ、日頃山行で持ち歩くもの、あれば個人用のファーストエイドキット、筆記用具、健康保険証、常備薬等
- (3)行動食は、各自ご用意ください。

14.その他

(1)食事

1 日目昼食、夕食、2 日目の朝食、昼食、夕食、3 日目朝食、昼食は研修所で用意しますが、食費は個人負担となります。原則的に、講師と受講生は研修所で用意する食事をとるようにして下さい。不都合のある方は、申込時にお申し出ください。

(2)前泊につきましては、申込時にお申し出ください。前泊希望者は、前日の 15 時以降にお越し下さい。

(3)問合せ事項が生じましたら、下記にご連絡ください。

【問い合わせ先】

日本登山医学会事務局内 ファーストエイド委員会

e-mail: ffaoffice@jsmmed.org

電話 03-6869-0510 FAX 03-6868-6484